

平成30年度学校評価（中間評価）について

平成30年10月

<p>本年度の 重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上</li> <li>2 ICT機器の活用</li> <li>3 自立と社会参加を促す教育活動の推進</li> <li>4 「笑顔」のある安全・安心な学校づくり</li> <li>5 関係機関や保護者等との連携による教育活動の推進</li> <li>6 センターの機能の充実</li> <li>7 仕事の効率化に努め、教職員の連携・協働を大切にする働きやすい職場づくり</li> </ol>		
項目	重点目標	具体的方策	中間評価
<p>小学部</p>	<p>児童の病気や障害の状態及び習熟度に応じて学習の目標や内容を設定し、実践することによって、児童が笑顔で学校生活を送ることができるようにします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭及び医療機関等との情報交換をもとに、児童の実態や個性を把握します。</li> <li>2 一人一人の実態に応じた学習目標・内容を設定し、効果的な学習方法と支援体制を工夫します。</li> <li>3 児童と共に学習の成果を振り返り、自己の成長と課題を確認することにより、児童が自信をもって次の学習に向かえるように支援します。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育相談及び入院カンファレンス等から得られた、児童の病気や障害の状態、特性や成長への願いをもとに、一人一人の実態に応じた個別的教育支援計画を策定し支援しています。</li> <li>2 校内とベッドサイド及び施設内教育学級をICT機器でつなぎ、学校行事やプログラミング学習において、児童がお互いの意見を交換し、考えを深め合う取組を始めました。</li> </ol>
<p>中学部</p>	<p>基礎的・基本的な学力の習得を確実にを行うとともに、集団の中で、自らの課題に気付き、その課題を解決するための考え方や学び方を養います。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の学習状況を適切に把握し、きめ細やかな指導を行います。</li> <li>2 WEBチャット等のICT機器を活用し、校内教育、BS学級、施設内教育学級で同時双方向での授業を行い、集団で学べる環境づくりをします。</li> <li>3 集団の中で、お互いが主体的に学び合える課題を設定し、対話的、協同的な活動の中で学びを深めます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 WEBチャット等を活用し、校内教育、BS学級、施設内教育学級で同時双方向の部集會を5回行いました。集団で学べる環境づくりに努めています。</li> <li>2 自立活動、総合的な学習の時間、道徳、学級活動を主に、自らの課題に気付き解決できる力を育むための学習を行っています。</li> </ol>
<p>高等部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各教育課程の指導内容及び指導方法について検証し、改善を進めます。</li> <li>2 保護者に対して、生徒の活動や授業での取組を紹介したり、健康に関する情報交換をしたりすることで、生徒・保護者ともに安心できる環境づくりに努めます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 指導内容の検証及び改善については生徒一人一人の実態を的確に把握し、個別のねらいを明確にした上で、高等部職員全体で取り組むべき課題という共通認識をもち、適切な指導が実施できるように情報交換を密に行います。</li> <li>2 保護者に対して、生徒の活動の様子をメール配信システムでタイムリーに伝えたり、授業参観・懇談会や各種説明会において、丁寧に説明したりしていきます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 部会や部研修等の機会を利用して、生徒個々の情報を高等部全職員で共有し、卒業後の進路や生活を見通した支援方法を検討した上で指導・支援しています。</li> <li>2 生徒の活動の様子を、メール配信等でタイムリーに保護者に伝える機会を多くすることで、安心できる環境作りに努めています。</li> </ol>
<p>施設内教育 名大 中京 藤田</p>	<p>保護者及び医療機関等との連携を保ち、児童生徒が安心して学べるように、個に応じた指導の工夫と充実に努めます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護者、病院、前籍校等と協力し合って学習環境を整え、児童生徒の実態に合わせた学習保障に努めます。</li> <li>2 授業や行事等、さまざまな教育場面で、ICT機器の効果的な活用を検討し、実践を重ねていきます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ベッドサイド授業の実施（19名）や、在籍期間が短期の児童生徒（6名）への学習保障に取り組んでいます。</li> <li>2 初めて3つの施設内教育学級と本校をWEBチャットでつないで、2学期の始業式を行うことができました。その他のICT機器の活用についても検討を続けています。</li> </ol>
<p>訪問教育</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の実態把握を的確に行い、実態に応じた授業をします。</li> <li>2 病院等の関係機関と児童生徒の情報を共有し、児童生徒が安心して過ごすことができるように努めます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の興味・関心や得意な活動を把握し、授業の中に積極的に取り入れます。</li> <li>2 教材・教具を工夫して、児童生徒が意欲的に活動に取り組むことができるようにします。</li> <li>3 病院等の関係機関との情報交換を積極的に行い、児童生徒が不安なく活動できるように努めます。</li> <li>4 担当者間で児童生徒の情報を共有し、児童生徒にあった支援目標・内容・方法を検討します。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の前籍校での学習状況等、これまでの実態を把握して、一人一人に応じた学習計画・内容で授業を進めています。</li> <li>2 児童生徒の興味・関心を取り入れた教材・教具を準備する等して、学習意欲が高まるように努めています。</li> <li>3 訪問教育を受ける児童生徒が増えましたが、担任を中心にして児童生徒の授業の様子等の情報交換を密に行い支援を実施しています。</li> </ol>
<p>総務部</p>	<p>教育活動の分かりやすい情報発信に努めます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校だより・校内掲示・メール配信システム等を利用して情報発信をしていきます。</li> <li>2 保護者と教職員が連携し、PTA活動の企画や活性化に努めます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 必要に応じて分掌ごとにメール配信できるように環境を整えました。児童生徒への連絡、行事の様子などの配信に、積極的に活用されています。</li> <li>2 PTA研修会では、以前から希望の多かった卒業生の講話を実施しました。参加者の質問に気軽に答えただき、和やかな会になりました。今後の研修会もニーズに合った内容になるよう、保護者と連携をとって企画していきます。</li> </ol>
<p>教務部</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の実態に応じた学力を身に付けるため学習機会を保障します。</li> <li>2 主体的に楽しく学ぶ授業を目指し指導力の向上を図ります。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の実態を把握し、一人一人に合った指導体制・指導方法を工夫します。</li> <li>2 各部、各教科における授業改善を心がけ、指導力向上のための研修機会を設けます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭や関係機関との連携を行い児童生徒の実態把握に努め、実態に合った授業の指導体制・指導方法の工夫を行っています。</li> <li>2 他の校務分掌と連携しながらICT機器を行事や授業及び校内研修に活用しています。</li> </ol>

生徒指導部	児童生徒一人一人を大切に、安心・安全な学校づくりに努めます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大府もちのき特別支援学校の開校に伴い、保護者送迎による登下校等の安全を確保するために、通行証を配付し、教員が校内での送迎車の誘導を行います。</li> <li>2 火災や地震、不審者侵入を想定した訓練、自転車や公共交通機関等を利用した生徒の下校指導を実施します。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護者送迎等による登下校時の安全を確保するために、両校の教員が連携し事故や混乱等なく誘導ができています。</li> <li>2 避難訓練や不審者対応訓練を実施し、防災や防犯について考える機会になりました。中学部・高等部生徒を対象とした下校指導を行い、交通マナーを意識することができました。</li> </ol>
保健体育部 自立活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育環境の整備や安全指導の充実と児童生徒の健康管理に努め、保健指導の充実を目指します。</li> <li>2 家庭及び医療機関と連携し、個々の児童生徒が自己理解を深め、病気及び障害によるさまざまな困難を改善・克服することを目指し、課題に対して主体的に取り組む態度を養います。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヒヤリ・ハット報告を集約、活用し、職員に周知徹底をすることで、事故防止に対する意識を高め、より安心で安全な教育環境を整えます。</li> <li>2 医療的ケアや食物アレルギー対応の実施については、保護者や関係する機関との連携を深める中で、児童生徒や教職員が互いに安心して学校生活を送ることができるように支援します。</li> <li>3 家庭や病棟と連携を取り、健康的な生活や食習慣の重要性を周知していきます。</li> <li>4 個別の指導計画を基にした児童生徒の目標や活動内容が、実態に合っているか、また安心・安全な環境が整っているかを検討しながら、関係者の連携のもとに活動を進めていきます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヒヤリ・ハット案件は昨年度より少なくなっています。随時校内巡視等をし、危険箇所の早期発見に努め、雨天時の転倒や熱中症等の危険性のあるときは、職員に周知し対応しています。</li> <li>2 校外での医療的ケアにおいては、衛生面に配慮して施設等と連携を取りました。アレルギー対応については、エビペン研修会を実施し、知識と情報を全校体制で共有しました。</li> <li>3 感染症の情報等を迅速に文書やメールで保護者に伝えることで、二次的な感染の予防に努めました。給食配膳時の健康チェックについては、継続し徹底していきます。</li> <li>4 児童生徒の実態に合わせてオリエンテーションの資料及びワークシートを修正し、児童生徒が自分の課題を考え、主体的に取り組む意欲を高めるようにしました。</li> <li>5 家庭及び医療機関等と連携して児童生徒の実態把握を行い、個別の指導計画の目標及び具体的方策が児童生徒の実態に合っているかを検討しながら取組を進めています。</li> </ol>
進路指導部	児童生徒の実態と児童生徒、保護者のニーズを踏まえ、適切な進路決定に向け進路指導の充実に努めます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学年や教育形態に応じて説明会や懇談等を実施します。保護者に対して情報を提供し、進路決定に向けた課題や支援方法について共通理解を図ります。</li> <li>2 地域や関係機関との連携を図り、見学、体験、実習等の活動や、進学、就労への支援が充実するよう努めます。</li> <li>3 希望する進路先に対して児童生徒の実態について情報提供することで児童生徒への理解を深めていただくよう努めます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中学部では卒業生が進学した高校と連絡をとり、情報収集を行いました。高等部では必要に応じて個別に懇談を行い、積極的に保護者へ情報提供をし、共通理解を図りました。</li> <li>2 中学部の長期に入院治療が必要な生徒は、例年より早く医療関係・学校関係等とのカンファレンスを実施しています。高等部では進学希望生徒対象に、学校申込による模試の機会を設けました。</li> <li>3 高校や事業所、関係機関等へ訪問するなど、進学や就労などに関する情報収集や情報共有を通して、互いに共通理解を図り、協働への関係構築を進めています。</li> </ol>
教育支援部	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の実態をふまえたきめ細かい支援をするために、教職員の研修の充実に努めます。</li> <li>2 病弱特別支援学校としての、センター的機能の推進に努めます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒の的確な実態把握、適切な支援につながるような研修を実施するとともに、必要な情報の提供を行います。</li> <li>2 昨年度に続き、医療、教育、地域との連携を重視したセミナーを企画し、地域の教育関係者にも公開します。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アンケートをもとに夏の研修会を計画し、実施しました。本校職員に加えて外部講師や外部機関の協力を得て、プログラミング教材、クラフトバンド手芸、社会人クレペリン検査等、全6講座、延べ114名で幅広い分野の研修を実施できました。</li> <li>2 センター的機能の一環として、医教連携セミナーを実施しました。「アレルギー疾患の基礎知識と学校での配慮について」をテーマに、あいち小児保健医療総合センターに協力をいただき、74名の参加者でテーマに沿った協議を深めることができました。</li> </ol>
教育情報部	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ICT機器等の教育環境を整備し、活用しやすくします。</li> <li>2 大府もちのき特別支援学校との図書館共用について整備を進めていきます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」の研究を進め、本校と病院内の教室をつなぎ、児童生徒の学習機会が広がるよう情報ネットワークを使用した同時双方向での通信を行います。</li> <li>2 本校と大府もちのき特別支援学校の図書担当者でミーティングを行います。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各部からヒアリングを行い、教育環境の整備のためにICT機器の購入を行いました。授業で効果的に活用できるようにするための校内研修を夏季休業中に実施しました。また、総合教育センターと連携を図り、校内でタブレット端末等が使用できる環境を整えました。</li> <li>2 大府もちのき特別支援学校の職員に図書館の利用説明会を行い、閲覧限定で共用を開始します。</li> </ol>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上ができたか</li> <li>2 ICT機器を活用することができたか</li> <li>3 自立と社会参加を促す教育活動が推進できたか</li> <li>4 「笑顔」のある安全・安心な学校づくりができたか</li> <li>5 いじめ防止等への対策を行い、児童生徒の実態に合わせ安全・安心に留意した支援ができたか</li> <li>6 関係機関や保護者等との連携による教育活動が推進できたか</li> <li>7 センター的機能の充実ができたか</li> <li>8 仕事の効率化、勤務時間の適正化に努め、教職員のメンタルヘルスを保持することができたか</li> </ol>		